

会議議事録（要旨）

1	会議名	令和2年度 第3回 長岡市地域公共交通協議会
2	開催日時	令和3年2月25日(木曜日) 午前10時00分から
3	開催場所	フェニックス大手イースト まちなかキャンパス3階 301会議室
4	出席者名	茂田井会長、佐野副会長、中山委員、小川委員、長谷川委員、岩島委員、 中川委員(代理：布川様)、佐野委員(代理：桜井様)、山本委員、 中山(精)委員、大田委員、宇佐美委員、小林委員 【欠席】 三本委員、高橋委員、佐々木委員
5	議決事項	(1) 川口地域自家用有償旅客運送の更新登録について (2) 令和3年度事業計画(案)について (3) 令和3年度歳入歳出予算(案)について
6	協議事項	(1) 自家用有償旅客運送の運行見直しについて (2) 長岡市地域公共交通網形成計画の実施状況について
7	協議結果の概要	・議決事項(1)(2)(3)について承認された。
8	審議の内容	<p>【議決事項】</p> <p>(1) 川口地域自家用有償旅客運送の更新登録について</p> <p>事務局 資料に基づき、議決事項(1)を説明。 (以下、質疑応答)</p> <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西川口・田麦山線について、矢印の逆方向の運行はあるのか。 ・定期券について、1か月3,000円、3か月9,000円、6か月18,000円とメリットを感じないが、どう考えているのか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西川口・田麦山線については矢印の方向に回る運行であり、逆方向の運行はない。乗る場所によっては乗車時間が長くなってしまいうこともある。 ・料金に関しては、分科会での議論はなかったが、確認しておく。 <p>会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の申請はこのままでよいか。 <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題ない。 <p>会長</p> <p>議決事項(1)を承認してよいか。</p> <p>(承認された)</p>

【議決事項】	(2) 令和3年度事業計画(案)について (3) 令和3年度歳入歳出予算(案)について
事務局	資料に基づき、議決事項(2)(3)を説明。 (以下、質疑応答)
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画の策定について、ポイントを絞り、目的を明確にし、それについての結果を導いてほしい。そして、結果をもとに現状より良くなるような計画をお願いしたい。 ・地域的に難しいところもあるが、利用者が少ないから減便するのではなく、将来を見据えた抜本的な改革をお願いしたい。 ・わし麻呂号の利用状況について、午前の利用は多く、午後の利用は少ないが、これは、午前中に行って帰ってきているのか、もしくは午前にはわし麻呂号を利用し、午後は別の送迎を利用しているのか。 ・除雪について、除雪担当と協力しながら、公共交通として幹線を重点的に確保するなど、除雪にメリハリをつけてもらおうと、ある程度不便さも限定されると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・わし麻呂号について、中心部にある病院利用が多く、午前中のうちに移動するパターンが多い。 ・午前便のみだと不便という声もあり、試行的に増やしているところであるが、実態として午前中の需要が多い。 ・14時と16時便は少なからず需要があり、小島谷駅まで行くと路線バスと接続する形となっているため、その2便を残し、ほかの午後便は減便して実証実験を継続していきたいと考えている。 ・与板のマルイやホームセンター利用の需要は、今のところ多くない。しかし、少しずつ利用者が増加してきており、和島支所が周知活動を行い、その結果を踏まえた利用状況を見ていきたい。 ・雪の関係について、交通政策課は、市のホームページ等で公共交通機関の情報提供をしている。除雪に関しては土木部道路管理課と越後交通が直接連絡を取り合っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪の件について、除雪会議において重要路線をリストアップして運行確保をお願いしている。今年は予想をはるかに上回る大雪であった。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型乗合タクシーの稼働率は、和島地域より栃尾地域のほうが高いが、和島地域の需要実態は数字の通りなのか、もしくはまだ周知されていないためなのか。 ・サロンで周知活動しているという話があったが、サロンに行かない人も大勢いる。実態に合わせるのではなく、利用者を増やす動きが大事だと思う。固定電話にステッカーを貼って連絡先をわかりやすくする方法で需要が増えると思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・栃尾地域はかつての路線バスのルートを運行しているため、事前に認知されており、利用者も多いが、和島地域は公共交通空白地だったところを運行しているため、どのように周知を図っていくかが重要である。ロコミ等で利用者も増えてきているが、実証実験期間中に利用促進を図るために事務局で検討したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・和島地域では高齢者サロン等に 20 回以上出向いて周知活動をしている。利用者を伸ばすために、参考資料の 10 ページのようなチラシを作成し、遠慮しないで電話してほしいという意識づけなどの工夫を行っている。 ・和島地域は登録制となっているが、和島地域の全人口に対して 10%程度しか登録されておらず、全体的に周知が広がっていない。ステッカーはいいアイデアだと思うので、持ち帰って検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料の 9, 10 ページの、デマンド型乗合タクシーの利用者数データであるが、令和 2 年 3 月から状況が様変わりしたため、これをすべて鵜呑みにはできないと感じた。稼働率 62%とあるが、3 月の前後では状況が異なるため、それらを含めて精査する必要があるのではないか。 ・タクシー事業者はドライバーの高齢化が進み、運転手不足でもある。使命感を持って運行しているため、きめ細やかなバックアップをお願いしたい。 ・福祉デマンドにおいて、大雪の中、遅れてでもお客様を目的地まで届けたという話を何回も聞いた。どうしても行かなければならない通院等に対して、きめ細やかに優先順位をつけながら行わないといけない点は公共交通の今後のテーマだと思う。 ・わし麻呂号は県外の人でも乗れるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・栃尾地域は誰でも乗れるが、和島地域は登録制であり、基本的に和島の人限定である。その点について、ほかの人でも乗れるようにするためにはタクシー事業者と相談しながら検討することとなる。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の中には観光という切り口もあり、今後の展開についてはどういったお客さんが利用しているのかが重要である。高齢者の通院が大半となると思うが、和島地域には観光資源があるのでそういったものも加味してもらいたい。 ・市政だよりによるタクシーの割引補助があったが、新規のタクシー利用者の掘り起こしはできなかった。普段使っていないバス、タクシー利用者をどう利用させるかが今後の展開だと思う。また、高齢者や免許返納者など優先順位をつけないと、公共交通としてどうしても健常者を優先しがちであるため、弱者への配慮を前面に出さないといけないのではないか。 ・ワクチン輸送について、他地域でタクシーの活用事例がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型乗合タクシーの実証実験について、周知活動等を行っているが、稼働率が上がってこないのは、長岡地域のみならず他地域でも抱えている課題である。 ・実際に乗って体験する方法も良いと思う。事業計画に小学校や高齢者を対象にしたモビリティマネジメントとあるが、具体的に決まっていることがあれば教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開催する学校やどのような高齢者を対象とするかは決まっていない。障害者という視点も必要になると思うので、交通事業者と協力しながら計画を立てたいと考えている。
会長	<p>議決事項 (2) (3) を承認してよいか。</p> <p>(承認された)</p>
	<p>【協議事項】</p> <p>(1) 自家用有償旅客運送の運行見直しについて</p>
事務局	<p>資料に基づき、協議事項 (1) を説明。</p> <p>(以下、質疑応答)</p>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 19 ページの川口地域生活交通について、西川口・田麦山線で満員のため乗車できないことがあり、前後を増便した件だが、令和元年の 7 時 35 分から 10 時 15 分までを合計すると 297 人、令和 2 年の 10 時 15 分までを合計すると 150 人、11 時 15 分までを合計しても 170 人とかなり減少している。満員による積み残しはなくなったかもしれないが、かなり利用者が減っており、これは利便性が落ちたのか、新型コロナウイルスの影響なのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度にぬくもり荘を出発して、最初に支所を経由しない運行に変更した。それにより、令和2年度については、木沢・和南津線からの乗り継ぎが生じることとなった。令和3年度はぬくもり荘を出発したら、まず支所を経由する運行に見直す。見直しによって西川口・田麦山線の利用者は増え、木沢・和南津線は減少する可能性はある。 ・高齢者が利用するゲートボール場や屋内施設が一時的に閉鎖された時期があったことや、温泉や買い物等の外出を控えたことも一因と考えられる。
【協議事項】	(2) 長岡市地域公共交通網形成計画の実施状況について
事務局	<p>資料に基づき、協議事項(2)を説明。 (以下、質疑応答)</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な料金施策の実施について、休日乗り放題パスが実施中であるが、年間乗り放題パスがあると良い。新型コロナウイルスの影響で外出を控えたり、地域の集まりもできないため、楽しみがないという声を聞いている。年間パスがあれば買い物だけでなく、楽しみにも使えると思うので検討してもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・導入当初は土日や夏休みなど、バス利用が少ない時に需要を活性化する目的で取り組んできたが、平日の利用活性化もしなければならない状況になってきたので、検討したい。
【その他】	資料に基づき、令和3年1月の大雪による公共交通機関への影響について説明。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・雪の関係で、補足事項はないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に情報が伝わるように、すばやく情報発信をしたり、翌日の運行予定を発信するなど今までなかった取り組みをした。今後また降る可能性もあるため、今回の教訓を生かして次年度以降に対策を打ちたいと思う。 ・雪によるバスの遅れを見ていると、東西の路線は順調だが、特に南から北に向かう路線で詰まったようだった。これについては、工業団地に向かう通勤車両による渋滞の影響で、バスの運行に支障が出たと考えている。 ・事業者、市、県、国と連携できればと思っている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・異常があたりまえになってきているため、来年以降もそれに備えなければならない。 ・交差点であと 1m 前へ出れば後続車が通過できるという場면을複数回見た。運転者のマナー改善だけでなく、除雪においても、交差点の角を削るといったことがあればよいと思った。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・雪にかかわらず、情報等はないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスに対して緩んでいるのではないかと危機感をもっている。これから人の動きが増えていく中で、事業者に対して抗原検査やPCR検査キットのバックアップも有効と考える。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策については、状況の変化に応じて対策内容も変わっていくと思うので、情報を市に寄せてもらいたい。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・年間パスについては、市からも力を添えてもらいたい。例えば、空のバスを運行するお金を年間パスに回すなど、トータルの公共交通にかかるお金の一部をそれらに回すことも選択肢のひとつではないだろうか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その点も来年の計画の立て直しをする中で、方向性や可能性について意見をもらいながら協議を進めていきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度 1 回目の協議会は 6 月頃を予定している。

■ 協議会の様子

